

＜この冬に向けたメッセージ＞

みんなで暖まりながら、かしこく節電を！

道民のみなさま、企業のみなさまへ

本年9月6日の北海道胆振東部地震の発生以降、道民の皆様や企業の皆様には、無理のない範囲での節電に御協力いただいております、厚くお礼申し上げます。

現在は、発電所の復旧等により電力需給は安定し、皆様とともに、復興に向けて全力で取り組んでいるところです。

こうした中、先般、国はこの冬の電力需給対策において、北海道については、引き続き無理のない範囲での節電の要請(数値目標なし節電要請)を実施するとの方針を示したところです。

このため、道では、無理のない範囲での節電を進めるため、この冬、「**みんなで暖まろう！**」を合言葉に、消費活動をしながら節電にも結びつく取組を応援しています。

休みの日には図書館といった公共施設や商業施設に出かけたり、家族がひとつの部屋に集まって過ごす「ウォームシェア」を行うことは、節電やエネルギー消費の削減につながるとともに、消費を促す効果も期待されます。

皆さん、この冬は、普段の生活を楽しみながら、かしこく節電を行いましょう。

北海道の厳しい冬を「**みんなで暖かくなって**」乗り切るため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年11月26日

北海道知事 高橋 はるみ

